

# 令和7年度 第3回学校運営協議会

1 日 時 令和8年2月13日(金) 14時00分から

2 場 所 山梨県立北杜高等学校 大講義室

3 次 第 司会 教頭

- (1) はじめのことば
- (2) 学校運営協議会会長あいさつ
- (3) 校長あいさつ
- (4) 本校の現状について(校長より)  
資料P2～P6、P10～P14を説明  
質問

【委員A】本年度特に特色があるもの、取り組んだ内容を教えてほしい。

回答→総合学科商業系列で北杜市との連携でコーヒーのブレンドと商品パッケージの開発を行った。また、食杜北杜においては、引き続き商品開発を行っている。

- (5) 本年度の成果と課題
  - ・部活動報告 放送部：顧問 生徒
  - 書道部：顧問 生徒
  - ギター部：顧問 生徒

意見

【委員B】生徒の活動が素晴らしい、特に放送部の作品を全校生徒に聞かせてほしい。

回答→制作段階で校内放送をしないので正直に本音を答えてくださいと生徒に依頼しているため、校内で共有することが難しい。

- ・進路指導について(進路指導主事) 資料P7～P9を説明
- ・学校評価について 資料P19～P20を説明
- ・令和8年度の志願状況について

- (6) 意見交換・助言

- ・学校運営協会委員の方から

【委員B】生徒を活動させたり、地域との連携は充実している。しかし生徒募集がうまくいかない。今後も広報活動に力を入れてほしい。

【委員C】部活動の紹介を本日みて、全県一区になってから苦労しているが生徒募集に関して工夫している様子が伺える。先日衆議院選挙があったが、選挙を見ている、投票する人をどのように決めているかという質問に対して、世間の人にはSNS、インターネット、動画などから新聞・テレビよりも情報を得ている。ホームページでも情報を公開していると思うが、他に何か

取り入れることも検討してはどうか。生徒の活動を広めるために、ラジオ番組に出演したり、放送部がアナウンサーと触れ、学べる機会を持てるように、協力したい。

【委員D】北杜高校は、本年度 110 周年記念事業があったり、農業クラブの全国大会があったりしながらも頑張っていると思う。しかし、県の端の地域は生徒募集が非常に難しい。学校独自の工夫には限界があると感じる。

【委員E】先程の現状の報告から、本校は原付や自転車事故が多いと感じる。交通安全に関する指導は行われていると思うが、同時に保険についての話もしっかりしてほしい。保険に加入していても、保険料が支払われていない場合は、保険が支払われないので、確認をすること。また、報告を学校にしっかりするなど、事故が起こることを想定した指導をお願いしたい。

【委員F】本年度は 4 回生徒の発表を見たり、生徒と関わるがあった。明野のイベントの書道パフォーマンス、北杜市市政祭の放送部の司会、ギター一部の演奏、110 周年記念式典の生徒の司会である。生徒が真剣に取り組む姿に学ぶことが多かった。地域と協働した様々な催しや、社会を形成する人材の育成については、負担感はあるが今後も頑張してほしい。

【委員G】先程の進路のお話にあるように、目的をもって進学するなどした生徒が、北杜市に戻って力になってくれると市としてはありがたい。市を盛り上げてくれる人材を育成してほしいし、協力したい。

【委員H】食杜北杜の活動に最初から関わっている。高校生の時に社会と交わる活動は、学校と家庭以外で実務を学ぶ場であると考え。生徒の気づきが商品として生まれている。また、その活動を通してこういう仕事に就きたいなど、進路を選択する幅が広がる。食杜北杜に学習単位を与えても良いと思うくらい学習効果が高いし、生徒の多様性も延ばすことができる。今後もぜひ続けていって欲しい。

【委員I】入試等で北杜高校の情報を得ているので、わかっていると思っていたが、本日の生徒の発表を聞いて、わからないことが多くあると感じた。高校生から中学生に情報発信があると良い。また、学校評価については、目をつむることは目をつむって、活用できるところを使っていくようにすると良い。

【委員A】志を持っていれば、全てうまくいく。では志をどうやって生徒に持たせるか。そういった思いを持っている生徒をどうやったら増やすことができるかが重要。自己肯定感や自己有用感を持てること。→北杜高校に来てよかった。北杜市に住んでよかったと思うことができる。そういう

生徒を増やしてほしい。また、広報活動については、今やっていることをアピールしていくこと。新しいところをするのは大変なので、今やっていることを発信していくことが良い。中学生や小学生の憧れとなる地域発信が必要。

【委員J】生徒募集については県外に情報発信をしていきたい。

【委員K】学校運営協議会は重要な組織である。行政や企業、地域、学校がしっかりと生徒の育成に関わり、情報を共有して学校の課題解決を進めていきたい。

#### (7) その他

・来年度の分科会について 資料 P21、P22 を説明

【委員E】来年度の分科会で SNS 等を活用した広報活動について話をする場合、アドバイザーとなる方を呼んでもらった方が話し合いがスムーズにできるのでお願いしたい。

## 4 おわりのことば